

寄贈図書リスト

気象データひまわりを楽しむ本  
川崎宣昭, 登内道彦, 井手迫義和著, B 6 判, 126 p,  
1,500 円, 丸善, 専門書  
New Horizon of X-Ray Astronomy  
F. Makino, T. Ohashi 著, A 5 判, 683 p, 18,000 円,  
Universal Academy Press Inc, 専門書

X-Ray Imaging and Spectroscopy of Cosmic Hot Plasmas  
F. Makino, K. Mitsuda 著, A 5 判, 653 p, 15,000 円,  
Universal Academy Press Inc, 専門書  
アインシュタインの「夢」  
矢島久夫著, A 5 判, 197 p, 2,800 円, リーベル  
出版, 専門書

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。  
e-mail で gpjimu@tenmon.or.jp 宛, なお, 原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

研究助成

天文学振興財団 1999 年度研究助成公募

当財団では, 国立天文台の事業支援等を通じて天文学の振興を図っております。当財団の 1998 年度の研究助成は, 山田 亨(東北大)及び新永浩子(茨城大)の 2 氏 2 件に対して計 200 万円を交付しました。

1999 年度の研究助成希望者を下記の要領で公募します。  
1998 年 11 月 2 日

天文学振興財団 理事長 古在由秀

1. 公募種目

(1) 研究助成

- a. 対象: 天文学に関する優れた研究活動を行おうとする個人又は団体の代表者, 原則として 35 歳以下
- b. 助成: 総額 200 万円とし, 助成件数は 1~2 件程度

(2) 国際交流に対する助成

- a. 対象: 天文学に関する海外での国際交流活動(1 カ月以内)に平成 11 年 4 月以降参加する研究者
- b. 助成: 派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部(実績平均 1 件当たり 17 万円程度)とし, 助成件数は数件程度

(3) 国際研究集会参加に対する助成

- a. 対象: 平成 11 年 4 月以降に海外で開催される天

文学に関する国際研究集会(10 日以内)に参加, 発表する研究者

- b. 助成: 派遣に要する往復航空賃及び滞在費の一部(実績平均 1 件当たり 15 万円程度)とし, 助成件数は数件程度
- 2. 選考結果: 選考委員会で審査の上, 採択の可否については, 平成 11 年 3 月頃に決定予定
- 3. 報告: 研究助成は, 年度末, それ以外の助成は, 帰国後 1 カ月以内に報告書を提出していただきます。
- 4. 申請: 申請書は事務局あてに請求して下さい。  
申請書の提出締切は平成 11 年 1 月 14 日必着
- 5. 問い合わせ先: 天文学振興財団事務局

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台内  
TEL: 0422-34-3659  
FAX: 0422-34-3690

研究会・集会案内

Yukawa International Seminar 1999

Black Holes and Gravitational Waves

— New Eyes in the 21st Century —

主催: 基礎物理学研究所, 湯川記念財団  
共催: ITP (UCSB), 日本学術振興会  
日時: 1999 年 6 月 28 日(月)~7 月 2 日(金)  
場所: 京都大学基礎物理学研究所  
内容: ここ 2, 3 年のうちに, TAMA300 や LIGO など大型重力波検出装置が稼働を始め, 強い重力場を伴う天体現象の観測が急速に進展することが予想される。1999 年度湯川国際会議では, これら来る 21 世紀における新たな展開に備えるために, 重力波天体物理学やブラックホール物理学など, 強い重力場に伴う現象に関するこれまでの研究を総括し, 今後の研究の方向について討議する。本会議は, 各分野の専門家による招